



# 中央区環境情報誌



中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>

## 中央エコアクト(家庭用)参加者に「省エネナビ」貸出中！

地球温暖化の防止策として、中央区で参加を募っているのが「中央エコアクト」。家庭でも事業所でも取り組みやすい仕組みで、手順も簡単です。区内に住んでいる方は「家庭用」のシステムに、区内に所在する事業所(営業所や支店などを含む)は「事業所用」のシステムに、どうぞチャレンジしてみてください。さらに「家庭用」システム参加者には「省エネナビ」の貸出しを行っています。効果的な節電対策にお役立て下さい。

**節電活動を始めるには、まず自分の電気使用量を、知っておきたい**

中央区では、日常生活における節電などの環境活動によって、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の排出量を減らしていく取り組み「中央エコアクト」(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)への参加者を募集しています。節電効果を高めるのはもちろん、光熱費の削減も期待できます。一定の成果をあげて区からの「認証書」を取得すると、太陽光発電システムや省エネルギー機器等の導入費助成制度での上乗せ助成の適用を受けられ、エコ・アクション・ポイントを取得することもできます。これまでも多くの個人や事業所が積極的に参加し、CO<sub>2</sub>排出量の削減成果を上げています。

中央区に移り住んで八年になるTさんも、新たに認証を受けたひとり。越してきた当初から「中央区民カレッジ」の各種講座を受講し、そこで取り上げられる環境問題について強い関心を持ち、「中央エコアクト」への参加を決意したといいます。

節電に取り組むなら、まずは自分がどういう電気の使い方をしていくかを知らなければ、とTさんが着目したものが「省エネナビ」でした。これは、家庭の分電盤に取り付けるだけで家庭の電気使用量や二酸化炭素排出量がリアルタイムで表示される機器で、中央エコアクトに参加する区民に区が二カ月間(最大六カ月)無料で貸し出ししているものです。

今後の節電の取り組みについて語るTさん

デイリーチェック表



省エネナビ

いますので、煩わしさはありません。いつでも誰でも電気使用量を確認できます。一日の電気使用量が三十分ごとに棒グラフで表示されるので、時間帯による変化がひと目でわかります。

「省エネナビ」活用のTさんの理由は、「このマンションはオール電化ですから、お風呂も料理も電気によるものです。そのため、どうしても電気を使わなくてはなりません。こうして毎日測定すればグラフで飛び出た部分を節電すればいいし、逆に「これ以上は節電できない量」もわかると思います。」

### 電気を使う時間帯を変えるだけでも節電効果大

節電においてTさんがまず試みたのは、電力使用のピーク時間帯を避けて電気を使うことでした。

「朝の炊飯や調理、洗濯は午前七時までに終わらせる。昼食時はしやうがないけれど、午後は五時までは使用をできるだけ控えて夕方からの使用は午後五時以降にすれば。家内もずいぶん協力してくれました。」

電気をを使う時間帯を少し変えるだけで、無理のない節電ができたようです。あとはこまめに電源を切ること。

「パソコンも使わないときは待機状態でなく電源を切るようにし、

洗面所の照明も省エネ効果が高いと言われるLED電球に替えました。今までもずっとコンセントに接続して使っていた電気ポットも、プラグを抜いて魔法瓶のような使い方をしています。朝お湯を沸かして入れると翌朝まで結構温かい。電源をとらなくても十分なんだとわかってからは、接続コードはもうどこかにしまっていました。」

こうして小さなことを積み重ねてTさん宅では、今年の夏の電気料金は従来の約半分にまで減りました。これも八月・九月の二カ月間、「省エネナビ」を活用し、電気の使用量を意識した暮らしの小さな変化があったからでしょう。

### 「中央エコアクト」の流れ



### 問題意識を持つことが大切

「中央エコアクト」と「省エネナビ」の活用方法については「省エネナビ」の貸出期間中は省エネ活動に関するチェックシートに毎日記入し、取組終了時に簡単な環境クイズの回答用紙を提出しました。ある程度成果が出たら周囲の人にも勧めたいと思い、省エネナビの貸出を再度申請して、今も中央エコアクトを続けています。」

Tさんは、区の講座で省エネに関する診断システムの存在も知り、自宅マンションの共用部分の診断を働きかけ、実現にいたしました。診断の結果、共用部の照明やエアコン使用が整理され、最終的に二八%もの節電につながったとのこと。CO<sub>2</sub>削減についても、まずは食べ物や紙など日常生活におけるゴミを減らすことではないかと語るTさん。

「大切なのは、まず、問題意識を持つことです。省エネナビは設置もチェックも簡単で、私もすごく勉強になりました。ぜひ皆さんにもやってほしいです。」

個人のお宅での節電対策も、みんなでも取り組めば大きな成果につながるはず。節電に興味のある方や、節電効果を実感されたい方は、ぜひ「省エネナビ」を取付けてみてください。

●問合せ先  
環境政策課温暖化対策推進係  
☎(3546)5406



# 「中央区の森」で森林を育てる お手伝いをしてみました



株式会社イトーキは、一八九〇年(明治二十三年)に、大阪で創業し、中央区入船には東京本社があります。オフィス家具の製造販売を中心に事業を行っており、みなさんに馴染みが深い製品に、学習デスクがあります。

環境への取り組みは、一九九八年に入船にあるオフィスビルでISO14001を取得したことはじまっています。近年は、家具や空間づくりのノウハウを活かした環境事業「エコニア」を進め、国内の森林資源の有効利用に力を入れています。その中で、企業市民としても社会に貢献できればと思います。「中央区の森」の森林保全活動に参加させていただくことになりました。

「中央区の森」の森林保全活動は、昨年十二月四日と本年十一月十二日に行いました。イトーキ労働組合と株式会社イトーキの共催で、昨年は三十八名、本年は三十六名の社



員が参加しました。

「間伐」は、良い木を育てるためだけでなく、森全体を健康に保つためにも必要な作業です。知っていても、体験するのは初めての参加者は、期待と緊張を胸に、NPO法人「里山再生塾」の指導員について森に足を踏み入れました。

作業場は、立っているのがやつとという急な斜面です。転がり落ちないように気をつけながら、まずのこぎりで幹に三角形の切り込みを入れます。次にロープをかけて引き倒します。間伐とはいえ、ある程度の太さのある杉やヒノキが相手のため、作業をはじめるとすぐ汗びっしょりになってしまいました。

驚いたのは、木が倒れる瞬間のことです。ドーンという大きな音とともに、すごい振動が伝わってくるのです。これには歓声が沸きあがっていました。

やつとの思いで倒した木はさらに三、四mの玉切りにし、運びやすいように枝を落とします。昼頃には、スッキリした樹冠から木漏れ日が差し、森の中はずいぶん明るくなっていました。

午後は丸太にロープを結び、ふもとの車道まで運び出します。まだ水分を含んでいる丸太は、乾燥したそれとは違い、ずっしりと重みがあります。森の中の道なき道を、丸太に引きずられるようにして数人

がかりで下ろしていきます。同じことを指導員が軽々と行っている姿をみて、日本の林業はすごいと改めて感じました。

森林保全活動は、とても大変な作業の連続だということ。また木材という自然の恵みを利用して生活していること。この活動は、参加者にとって学ぶことの多い体験になったと思います。

また、地球規模でいえば温暖化防止につながる活動ができたことは、企業としても意義深いものでした。これからも継続して実施していく予定です。

余談ですが、イベント後に「中央区の森」の間伐材で小さなプランターを作りました。展示会で記念品としてお配りしたところ、とても好評でした。



区では、「中央区の森」体験ツアーを実施しています。また、区内事業者・団体の方々による「中央区の森」での森林保全活動についても、檜原村のNPO法人「里山再生塾」とのコーディネートを行っておりますので、是非ご利用ください。

●問合せ先  
水とみどりの課環境活動係  
☎(3544)5654

# 中央エコアクト認証事業所 八重洲地下街株式会社

省エネ意識を高め、取り組みを継続していきたい



東京駅に直結した八重洲地下街を運営し、かねてより省エネ活動やコスト削減に取り組みしてきた八重洲地下街株式会社。百九十店舗をたばねながら、安全かつ快適な環境づくりを目指す中、自主的に取り組んできましたが、省エネ法や東京都環境確保条例の指定事業者等に該当していることもあり、「さらなるステップアップを」と、昨年、中央エコアクト(中央区版二酸化炭素排出抑制システム)に参加しました。八重洲地下街の省エネ活動を鼓舞する施設部施設管理グループの皆さんが、意気込みを語ってくれました。

## 具体的な取組内容を おしえてください。

「この中央エコアクトを知ったのが少し遅かったのですが、省エネという目指すところは同じなのだから賛同しない手はない、この地下街のピーアールにもなるかなとも考えて平成二十二年十二月一日から取り組みを開始し、平成二十三年五月二十五日に認証取得をしま

した。第一に、地下通路の中央ゾーンを中心に照明をぐつと落としました。これまで千二百〜千五百ルクスの明るさだったのが、半分以下の四百五十〜六百ルクスにまで下げられています。結果的には四割の省エネが実現できました。三月十一日の震災以降、人々の意識も高まってきましたし、今ではさほど暗いという印象はありません。むしろ通路の照明を落とすことで、店舗内の明るさが際立って良い効果だったので「幸福」ではない、というところへの気づきにもつながったのではないのでしょうか。そのほか、省エネ推進委員会を組織化し、アクションプランを立てて毎月活動を行ってきました。中央エコアクトの活動を啓発する意味で、各店舗に配布する地下街商店会の情報誌にも省エネニュースを紹介し、今どうしているかをやっているのか、あるいは店舗からの提案などを求め、情報交換にも努めてきました。」

## そのほか大きな成果は ありましたか？

「二〇〇三年に改正省エネ法が施行されてからエネルギー削減に努めていますので、消費電力量が減っただけでなく、契約電力も下げることができ、当初七千五百kWの契約だったのが今では六千六百kWにまで下げ



られるようになっていきます。今年には震災もありましたので、中央エコアクトだけの成果かというところはいえませんが、各店舗や一人一人の省エネ活動があつたからこそだと思えます。照明についても、最近ばかり性能の良いLEDランプが出てきていますので、今後は中央エコアクトの認証取得で割増がうけられる中央区の省エネ機器の助成制度も利用させていただいて、テナントさんの照明取替にも勧めさせていただきます。と思っています。」

## 従業員やお客さまの反応は いかがでしたか？

「こうした活動は残念ながら店舗さんや中央区に来られる人にはなかなか周知できない、それが課題でもあります。商店会とはともに態勢を組んでいるんですが、各テナントの従業員の方々にどれだけ伝わっているかというところがなかなか難しいと伝えたりして省エネへの意識を上げさせ、持続可能なかたちで運営できたらと思います。」

# 環境作品コンクール 入賞者のお知らせ

中央区では、区内小・中学校の児童・生徒の皆さんに、環境について関心を深めてもらうことを目的に「環境作品コンクール」を実施しています。今年度は、ポスター千七百九十九点、標語九百七十四点の応募がありました。

審査の結果、次の方が入賞いたしました。おめでとうございます。  
●**標語部門 最優秀作品**  
省エネオン スイッチオフ 心がけはいつもオン  
有馬小5年 立石 陸  
「少し我慢」 たった1度が ECOになる  
晴海中3年 土屋 萌莉



●**ポスター部門 最優秀作品**  
日本橋小5年 小島 彩楓  
日本橋中2年 川田 詩恵奈  
●**入選者(敬称略)**  
●**ポスター部門**  
最優秀作品(二名)  
日本橋小5年 小島彩楓  
日本橋中2年 川田詩恵奈  
優秀作品(八名)  
城東小4年 菅野谷星羅 有馬小4年 丸山豊土  
日本橋小4年 菅野谷星羅 有馬小3年 坂本祐基  
豊海小6年 河田桃花 月島第一小5年 中山可琳  
豊海小2年 並河由萌 日本橋中2年 住友麻綾  
●**標語部門**  
最優秀作品(二名)  
有馬小5年 立石陸 晴海中3年 土屋萌莉  
優秀作品(五名)  
有馬小6年 小熊可菜海 阪本小1年 田中僚  
飯村元貴 阪本小4年 福岡未祐  
●**問合せ先**  
水とみどりの課環境活動係  
03(3546)9595

# 2011年子どもとためす環境まつり

## 体験型環境学習祭に多くの親子が参加しました!



十一月二十六日、京橋築地小学校にて「子どもとためす環境まつり」が開催されました。第八回目となる今回は、区内小学校

やガス管を使った万華鏡づくりなど、無心に取り組めるコーナーが充実。中でも、魚のアラを資源として活かすことを学べるコーナーや、紙コップから紙コプター作り、エコに関するクイズを解きながら進む「エコ迷路」は大人気。スタンプリーに張り切る子どもたちの姿も

多く見られました。楽しみながら環境問題について学べるイベントは地域住民で大盛況となりました。

ほか、中央区に関わる企業や団体が数多く参加して節電に配慮したさまざまな企画が展開されました。会場には「中央区の森」の間伐材を使ったミニクリスマスツリーづくりや楽しいエコ遊び道具づくり、さらにはLED基板を用いた「光るうちわ」

また、親子で参加した親子が参加しました!



# 中央おもちゃの病院を開設しています

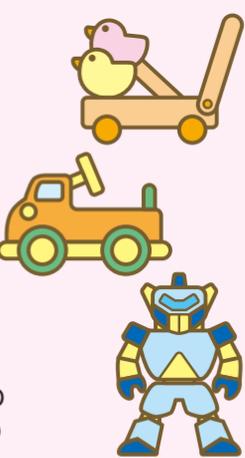
おもちゃの病院では、ボランティアで子どもたちの壊れたおもちゃを修理しています。費用は、材料代・部品代を除き無料で行います。お預かり期間は1ヵ月です。修理できないおもちゃもありますので、ご不明な点は下記までお問合せください。

【修理できないおもちゃの例】  
・浮き輪などビニール製のもの  
・骨董品や高額なもの  
・IC部品が故障しているもの  
・法的に規制のあるもの

- 受付 毎月第2日曜日 午前10時～午後3時(祝日等休館の場合を除く)
- 場所 リサイクルハウスかざぐるま箱崎町 中央区日本橋箱崎町36-15
- 費用 無料(材料代・部品代は実費)

おもちゃの病院の会員も募集しています。ご連絡お待ちしております。

【連絡先】  
中央おもちゃの病院会長 加藤 立  
☎(3531)3145 メールアドレス:tdm.kt@jcom.home.ne.jp



# 環境の分野で活躍されている方々に感謝状を贈呈

日頃から地域での資源回収や清掃活動にご尽力いただいている方及び団体、ならびに事業系一般廃棄物の再利用等に積極的に取り組んでいる区内の事業所に対して、12月8日(木)に感謝状を贈呈しました。贈呈式の後には「宇宙から見た地球環境」と題して、JAXA(宇宙航空研究開発機構)寺澤勝也氏による環境講演会を開催し、多くの方にご参加いただきました。受賞された方及び団体は以下のとおりです。(敬称略)

- 1 リサイクル活動団体(3団体)  
●京橋朝海幼稚園PTA ●小伝馬町わかさ会 ●大洋豊海荘自治会
- 2 地域クリーン活動団体(4団体)  
●倫しるべの会 ●晴海ビュータワー自治会 ●チョイス・クラブ  
●いちよし証券株式会社
- 3 地域クリーン活動ボランティア(3人)  
●佐々木 英夫 ●加藤 恵一 ●原 栄子
- 4 事業用大規模建築物所有者等(2事業者)  
●ダイビル株式会社 ●英雄化学株式会社

【連絡先】  
1④中央清掃事務所清掃事業係 ☎(3562)1523  
2③道路課工務係 ☎(3546)5403  
※環境講演会については 水とみどりの課環境活動係☎(3546)9595

# 「資源物の持ち去り防止対策」にご協力をお願いします。

皆さんが集積所に出した新聞、雑誌、段ボール、びん、缶等の資源物を第三者が持ち去る行為が横行しています。区では、「中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例」で、古紙等の持ち去り行為を禁止するとともに、パトロールを実施する等の防止対策に取り組んでいます。

**資源は、回収当日の朝八時に、集積所にお出してください**

持ち去り行為は、夜間や明け方に多く行われています。回収の前日や夜間・早朝に排出すると持ち去られる可能性が高くなります。大切な資源を持ち去り行為から守るために、ご協力をお願いします。



## 資源回収袋を配布しています

区の資源回収に排出したことを明示した新聞回収袋を配布していますのでご活用ください。



## 【配布場所】

中央清掃事務所、水とみどりの課(区役所七階)、日本橋特別出張所、月島特別出張所、京橋図書館、日本橋図書館、月島図書館

区の資源回収委託業者は、車両に「資源回収 中央区」の表示があります。区の資源回収を装って、持ち去り行為を行っている業者がいるとの情報もありますのでご注意ください。

●問合せ先  
中央清掃事務所作業係  
☎(3562)1521



# 集団回収をはじめませんか

集団回収とは、十世帯以上の区民の皆さんが家庭から資源(古紙・空き缶等)を持ち寄り、直接、回収業者へ引き渡すリサイクル活動です。

**どなたでも参加できる。**

- ①地域の皆さんが一体となって取り組むことで、地域の結びつきが強くなります。
- ②実績に応じて区からの助成金(回収量1kgにつき七円・半年)

# 「もつひとしぼり」で生ごみ減量!

中央区の家から出る燃やすごみの約40%を生ごみが占めています。生ごみには多くの水分が含まれており、野菜の皮を三角コーナーなどに入れることで、さらに多くの水分を含んでしまします。この水分が臭いの発生源になるとともに、ごみの重量が増える原因にもなっています。また、多量の水分が清掃工場の焼却炉に投入されることで、焼却効率が低下し、多量のエネルギーを必要とします。



## どやって始めるの?

- ①町会・自治会・PTA・管理組合または十世帯以上の区民の方で団体をつくりまします。
- ②回収品目・日時・場所等を決め、回収業者と契約します。
- ③区に団体登録の申請をします。
- ④区から登録証が発行され、活動スタートです。

集団回収は、どこの家庭からも出る資源を持ち寄る身近な環境活動です。ぜひご参加ください。

●問合せ先  
中央清掃事務所清掃事業係  
☎(3562)1523

# 確認しよう! ペットボトルの出し方

ペットボトルは左記の手順で出してください。

①キャップとラベルをはすす  
キャップは必ずはすみましょう!

②中身は空にして水洗いする

③押しつぶす

④中身の見えるごみ袋に入れる

このマークが目印です。  
PET

●ペットボトルは「資源」の日に出してください。  
●はすしたキャップとラベルはプラマークの日に出してください。

# 環境学習の出前授業を行っています

中央清掃事務所では、幼稚園、小学校等に環境学習の出前授業を実施しています。清掃事務所職員が出向き、清掃事業の紹介やごみの分け方の説明、模擬収集体験などを行っています。

九月二十二日に有馬小学校で実施した環境学習では、児童が実際に作業着と保護具を身に付けて、今年度新たに導入したスケルトンタイプの清掃車を使ったごみの積み込み体験を行いました。

環境学習は子どもの頃からの環境意識を高めるきっかけとなり、大変好評をいただいています。どうぞご活用ください。

●問合せ先  
中央清掃事務所作業係  
☎(3562)1521

